2023年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年８月８日

上 場 会 社 名　株式会社オークネット　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3964　URL　http://www.aucnet.co.jp/
代　表　者　(役職名)　代表取締役社長CEO　(氏名)　藤崎　慎一郎
問合せ先責任者　(役職名)　取締役専務執行役員CFO　(氏名)　谷口　博樹　(TEL) 03(6440)2552
四半期報告書提出予定日　2023年８月８日　配当支払開始予定日　2023年９月４日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

１．2023年12月期第２四半期の連結業績（2023年１月１日～2023年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第２四半期	21,931	6.4	4,006	0.9	4,095	△0.2	2,619	6.1
2022年12月期第２四半期	20,603	－	3,972	13.0	4,104	10.4	2,467	3.5

(注) 包括利益 2023年12月期第２四半期　2,718百万円(　5.1%) 2022年12月期第２四半期　2,587百万円(　1.6%)

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日) 等を2022年12月期第１四半期連結会計期間の期首から適用しているため、当該基準を適用する前の2021年12月期第２四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2023年12月期第２四半期	100.44	99.82
2022年12月期第２四半期	89.23	88.57

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第２四半期	38,748	21,498	54.3
2022年12月期	37,348	22,911	60.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第２四半期　21,054百万円　2022年12月期　22,514百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2022年12月期	―	23.00	―	25.00	48.00
2023年12月期	―	24.00			
2023年12月期(予想)			―	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2023年12月期の連結業績予想（2023年１月１日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	6.3	6,300	△4.6	6,322	△5.6	3,945	△9.2	158.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期２Ｑ	26,463,200株	2022年12月期	26,463,200株
②　期末自己株式数	2023年12月期２Ｑ	2,868,916株	2022年12月期	352,116株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期２Ｑ	26,079,564株	2022年12月期２Ｑ	27,656,774株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.４の「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュフロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
（重要な後発事象） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当社グループは、「価値あるモノを、地球規模で循環させる～Circulation Engine. 」をサステナビリティポリシーと掲げ、循環型流通の構築に取り組んでいます。市場に出た価値あるモノを停滞させることなく循環させる仕組みづくりに寄与し、持続可能な社会に貢献する企業として、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

2022年５月には、中期経営計画「Blue Print 2025」を策定し、当社独自の指標である「Gross Circulation Value/総循環型流通価値」を始め、EBITDA、ROE、配当性向の４つを重要経営指標としました。「Blue Print 2025」をもとに、既存事業のシェア拡大や新規事業の開拓を推進し、さらなる会員ネットワークの拡大や流通形態の多様化を目指してまいります。

このような計画に基づき、事業を推進した結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は21,931,777千円（前年同期比6.4％増）、営業利益は4,006,611千円（前年同期比0.9％増）、経常利益は4,095,007千円（前年同期比0.2％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,619,405千円（前年同期比6.1％増）となりました。

	2023年12月期 当第２四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	21,931,777千円	+6.4％
営業利益	4,006,611千円	+0.9％
経常利益	4,095,007千円	△0.2％
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,619,405千円	+6.1％

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、2023年12月期第１四半期連結会計期間の期首より、従来の「四輪事業」を「オートモビル事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

（オートモビル事業）

当事業は、中古車オークション（※１）、共有在庫市場（※２）、ライブ中継オークション（※３）、落札代行サービス（※４）及び車両検査サービス（※５）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第２四半期連結累計期間の新車登録台数（※６）は、前年同期比17.5％増の245万台、中古車の登録台数（※７）は、同0.3％増の333万台、中古車オークション市場の出品台数（※８）は、同17.5％増の417万台、成約台数（※８）は、同9.0％増の264万台となりました。

第１四半期に引き続き、当第２四半期においても、新車登録台数及び中古車オークション市場の出品、成約台数はいずれも前年同期を大きく上回る結果となりました。

ライブ中継オークションでは、中古車オークション市場の復調により落札台数が増加した結果、前年同期比増収増益となりました。

落札代行サービスでは、落札台数に加え会員数も増加し、当第２四半期累計期間において過去最高益を達成しました。

自社開催の中古車オークションでは市況の回復を受け、出品及び成約台数が前年同期比で増加したものの、共有在庫市場では成約台数が伸び悩み、自社流通全体では前年同期比増収減益となりました。

車両検査サービスでは、特に大手専業店からの需要が引き続き高く、中古車情報誌認定検査の検査台数が好調に推移し、総検査台数が増加した結果、前年同期比増収増益となり、セグメント利益に大きく貢献しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は6,262,178千円(前年同期比7.3％増)、営業利益は2,065,772千円（前年同期比8.7％増）となりました。

	2023年12月期 当第２四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	6,262,178千円	+7.3％
営業利益	2,065,772千円	+8.7％

（※１）中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車オークションのことです。
（※２）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。
（※３）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。
（※４）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。
（※５）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。
（※６）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より
（※７）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より
（※８）2023年ユーストカー総合版＋輸出相場版より

（デジタルプロダクツ事業）

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

第１四半期に引き続き、当第２四半期においても新規バイヤー数は増加し、過去最多を記録した一方で、中古端末の流通台数は減少傾向が続き、取扱高は前年同期比で縮小しました。また、営業活動の充実等による継続的なバイイングパワーの増加に加え、取引先の多様化によるソーシングの強化にも注力し、グローバル展開や組織強化のために積極的な投資を実施しました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は3,761,111千円(前年同期比4.5％減)、営業利益は2,497,889千円（前年同期比8.6％減）となりました。

	2023年12月期 当第２四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	3,761,111千円	△4.5％
営業利益	2,497,889千円	△8.6％

（コンシューマープロダクツ事業）

当事業は、ブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスで構成されています。

B2B事業では、デジタルマーケティングやキャンペーン施策等により新規会員数が堅調に推移し、出品促進施策により出品点数が増加しました。成約点数も引き続き増加したことに加え、大手企業との提携により、単価の高い出品が増加したこともあり平均成約単価が上昇し、取扱高が拡大した結果、前年同期比増収増益となりました。

C向け事業では、デジタルマーケティングにより良質な商品買取を実施したことに加え、インバウンド需要により販売顧客数が増加し、販売単価が上昇した結果、前年同期比増収増益となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は10,074,993千円(前年同期比12.9％増)、営業利益は980,315千円（前年同期比10.7％増）となりました。

	2023年12月期 当第２四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	10,074,993千円	+12.9％
営業利益	980,315千円	+10.7％

（その他）

当事業は、中古バイク及び花きのオークション、サーキュラーコマース事業(医療関連事業を含む。)及び海外事業等で構成されています。

当第２四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は2,048,422千円(前年同期比4.6％減)、営業損失は116,885千円（前年同期は営業損失184,825千円）となりました。

	2023年12月期 当第２四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	2,048,422千円	△4.6%
営業損失(△)	△116,885千円	－

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,399,737千円増加し、38,748,398千円となりました。これは主に、オークション貸勘定が1,880,306千円、棚卸資産が175,487千円、受取手形、売掛金及び契約資産が112,874千円、その他無形固定資産が109,095千円増加したものの、その他流動資産が614,339千円、現金及び預金が206,484千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,812,089千円増加し、17,249,518千円となりました。これは主に、オークション借勘定が2,754,522千円、未払法人税等が471,906千円、買掛金が199,374千円増加したものの、その他流動負債が695,695千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,412,351千円減少し、21,498,879千円となりました。これは主に、利益剰余金が1,943,317千円増加したものの、主に自己株式の取得等により自己株式が3,454,807千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて126,484千円減少し、19,814,975千円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、4,371,466千円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益4,097,741千円、減価償却費301,721千円、仕入債務の増減額197,655千円、オークション借勘定の増減額2,748,869千円、法人税等の還付額244,105千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増減額115,002千円、オークション貸勘定の増減額1,879,135千円、棚卸資産の増減額173,490千円、法人税等の支払額859,102千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、365,948千円となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出138,028千円、無形固定資産の取得による支出326,194千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、4,201,747千円となりました。これは主に、配当金の支払額655,350千円、自己株式の取得による支出3,543,288千円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年２月14日に公表している業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,021,460	19,814,975
受取手形、売掛金及び契約資産	1,244,982	1,357,856
棚卸資産	2,662,673	2,838,160
オークション貸勘定	3,538,963	5,419,269
その他	2,931,556	2,317,217
貸倒引当金	△41,876	△37,604
流動資産合計	30,357,759	31,709,875
固定資産		
有形固定資産	1,637,989	1,629,212
無形固定資産		
のれん	550,444	490,467
その他	855,524	964,619
無形固定資産合計	1,405,968	1,455,087
投資その他の資産	3,946,943	3,954,222
固定資産合計	6,990,901	7,038,522
資産合計	37,348,660	38,748,398

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年６月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	785,956	985,330
オークション借勘定	7,202,380	9,956,902
未払法人税等	876,067	1,347,974
その他の引当金	234,819	257,241
その他	2,200,733	1,505,037
流動負債合計	11,299,957	14,052,486
固定負債		
退職給付に係る負債	1,816,027	1,858,917
株式給付引当金	228,171	246,296
その他	1,093,272	1,091,817
固定負債合計	3,137,471	3,197,032
負債合計	14,437,429	17,249,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,807,303	1,807,303
資本剰余金	4,207,369	4,207,369
利益剰余金	16,621,897	18,565,215
自己株式	△599,643	△4,054,451
株主資本合計	22,036,925	20,525,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316,360	314,699
為替換算調整勘定	111,417	174,822
退職給付に係る調整累計額	49,382	39,381
その他の包括利益累計額合計	477,161	528,902
非支配株主持分	397,144	444,540
純資産合計	22,911,231	21,498,879
負債純資産合計	37,348,660	38,748,398

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年１月１日 至 2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年１月１日 至 2023年６月30日）
売上高	20,603,426	21,931,777
売上原価	11,528,819	12,388,730
売上総利益	9,074,606	9,543,047
販売費及び一般管理費	5,102,368	5,536,436
営業利益	3,972,238	4,006,611
営業外収益		
受取利息	1,582	2,978
受取配当金	47,276	50,909
為替差益	86,479	64,009
その他	30,296	13,886
営業外収益合計	165,634	131,783
営業外費用		
支払利息	204	76
持分法による投資損失	6,208	13,465
支払報酬	8,771	25,220
その他	18,228	4,624
営業外費用合計	33,412	43,387
経常利益	4,104,459	4,095,007
特別利益		
関係会社清算益	8,006	4,539
その他	867	－
特別利益合計	8,873	4,539
特別損失		
固定資産除却損	19,619	1,805
その他	65,652	－
特別損失合計	85,272	1,805
税金等調整前四半期純利益	4,028,061	4,097,741
法人税等	1,525,719	1,430,939
四半期純利益	2,502,341	2,666,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,633	47,396
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,467,707	2,619,405

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年１月１日 至 2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年１月１日 至 2023年６月30日）
四半期純利益	2,502,341	2,666,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,463	△1,661
為替換算調整勘定	112,714	63,404
退職給付に係る調整額	△7,572	△10,001
その他の包括利益合計	84,678	51,741
四半期包括利益	2,587,019	2,718,544
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,552,385	2,671,147
非支配株主に係る四半期包括利益	34,633	47,396

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2022年１月１日 至 2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2023年１月１日 至 2023年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,028,061	4,097,741
減価償却費	358,078	301,721
のれん償却額	59,976	59,976
貸倒引当金の増減額（△は減少）	102,719	△30,911
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	24,193	28,474
株式給付引当金の増減額（△は減少）	20,457	18,124
その他の引当金の増減額（△は減少）	△134,342	24,045
受取利息及び受取配当金	△48,858	△53,887
支払利息	204	76
持分法による投資損益（△は益）	6,208	13,465
関係会社清算損益（△は益）	△8,006	△4,539
売上債権の増減額（△は増加）	60,656	△115,002
オークション貸勘定の増減額（△は増加）	△1,832,952	△1,879,135
棚卸資産の増減額（△は増加）	△334,358	△173,490
仕入債務の増減額（△は減少）	60,191	197,655
オークション借勘定の増減額（△は減少）	4,476,052	2,748,869
固定資産除売却損	19,619	1,805
その他	19,462	△302,961
小計	6,877,363	4,932,028
利息及び配当金の受取額	45,841	54,511
利息の支払額	△204	△76
法人税等の支払額	△1,672,531	△859,102
法人税等の還付額	1,852	244,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,252,322	4,371,466
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△550,000	－
定期預金の払戻による収入	470,000	80,000
有形固定資産の取得による支出	△173,334	△138,028
無形固定資産の取得による支出	△41,153	△326,194
関係会社の清算による収入	8,006	4,539
敷金及び保証金の差入による支出	△61,077	△42,009
敷金及び保証金の返還による収入	30,102	52,671
その他	△71,489	3,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,946	△365,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△475,207	△3,543,288
配当金の支払額	△591,097	△655,350
その他	△64,871	△3,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,177	△4,201,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	114,361	69,745
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,846,560	△126,484
現金及び現金同等物の期首残高	19,565,921	19,941,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,412,482	19,814,975

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年５月９日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,567,600株の取得を行っております。この取得の結果、自己株式が3,543,288千円増加しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間(自　2022年１月１日　至　2022年６月30日)

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	オートモビル事業	デジタルプロダクツ事業	コンシューマープロダクツ事業	計				
売上高								
オークション関連収益	4,001,408	3,829,627	1,214,513	9,045,549	973,517	10,019,067	－	10,019,067
商品販売関連収益	176,960	110,612	7,695,468	7,983,041	428,773	8,411,815	－	8,411,815
その他	1,590,672	－	12,700	1,603,372	569,171	2,172,544	－	2,172,544
顧客との契約から生じる収益	5,769,041	3,940,240	8,922,681	18,631,963	1,971,463	20,603,426	－	20,603,426
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	5,769,041	3,940,240	8,922,681	18,631,963	1,971,463	20,603,426	－	20,603,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,053	－	－	68,053	176,313	244,367	△244,367	－
計	5,837,095	3,940,240	8,922,681	18,700,017	2,147,776	20,847,793	△244,367	20,603,426
セグメント利益又は損失（△）	1,900,827	2,734,095	885,594	5,520,517	△184,825	5,335,691	△1,363,453	3,972,238

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,363,453千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間(自　2023年１月１日　至　2023年６月30日)

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	オートモビル事業	デジタルプロダクツ事業	コンシューマープロダクツ事業	計				
売上高								
オークション関連収益	4,120,997	3,570,006	1,408,458	9,099,462	926,534	10,025,996	－	10,025,996
商品販売関連収益	240,660	191,105	8,648,663	9,080,428	389,567	9,469,995	－	9,469,995
その他	1,836,200	－	17,871	1,854,071	581,712	2,435,784	－	2,435,784
顧客との契約から生じる収益	6,197,858	3,761,111	10,074,993	20,033,963	1,897,814	21,931,777	－	21,931,777
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	6,197,858	3,761,111	10,074,993	20,033,963	1,897,814	21,931,777	－	21,931,777
セグメント間の内部売上高又は振替高	64,320	－	－	64,320	150,608	214,928	△214,928	－
計	6,262,178	3,761,111	10,074,993	20,098,283	2,048,422	22,146,706	△214,928	21,931,777
セグメント利益又は損失（△）	2,065,772	2,497,889	980,315	5,543,977	△116,885	5,427,091	△1,420,480	4,006,611

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、サーキュラーコマース事業及び海外事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,420,480千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３　報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、従来の「四輪事業」を「オートモビル事業」に名称変更しております。この報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称により作成したものを記載しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。